庄原保育所を移転 建て替えへ

女性児童課施設管理係　☎0824-73-1192

※完成イメージ図

現状

現在の庄原保育所は昭和53年度に建築されたもので、30年以上が経過。施設の老朽化が進んでいます。

平成21年度に実施した建物耐震診断では、保育所施設としての基準は満たしているものの、学校施設（文部科学省）の耐震基準は下回っており、安全確保の面からも課題があるのが現状です。

近年、共働き世帯の増加や核家族化により低年齢児の入所希望者が増加、現在の保育室では受け入れが困難となり、年度中途で待機児童が出ている状況です。園庭も園児の数に対応しきれていません。保育所敷地内には駐車場もなく、朝夕の通園時間帯は保育所前の道路の交通にも支障をきたしています。

このような状況下にあることから、平成24年度の完成を目標に、現在の場所から移転し、建て替えを行います。

建築の基本方針

保育所は、子どもが一日の大半を過ごす場所です。一人一人の子どもが伸び伸びと活動でき、心豊かに成長できるような場所でなくてはなりません。そのためには、自然と人が触れ合い健康な生活ができる環境を用意し、豊かな人間性を持った子どもを育成することが求められます。

こうした保育を展開していくため、健康や安全を確保するための施設機能の改善、保育内容の充実を図ります。建物は木造平屋建、環境に配慮した自然エネルギーの活用、防犯性を考慮したセキュリティシステムの設置などに重点を置き建築を進めていきます。

取り組み状況

事業の実施にあたり設計者による創造性、技術力、豊富な経験を期待して、指名型設計競技（コンペ方式）※による設計者公開ヒアリングを7月15日に開催しました。市民も見守るなか、7社が企画提案を説明。その後、選定委員会の厳正な審査を経て、大旗連合建築設計株式会社を設計者に決定しました。

建設予定地位置図

主な工事スケジュール

平成23年度　基本設計・実施設計・造成設計・造成工事（敷地内）・地質調査

平成24年度　建築工事（園舎建築・園庭他外構工事）

※「コンペ方式」とは、発注者が明確な設計条件を示し、設計者が設計案を作成。それを審査し最も優れた提案を行った者と契約する方式です。